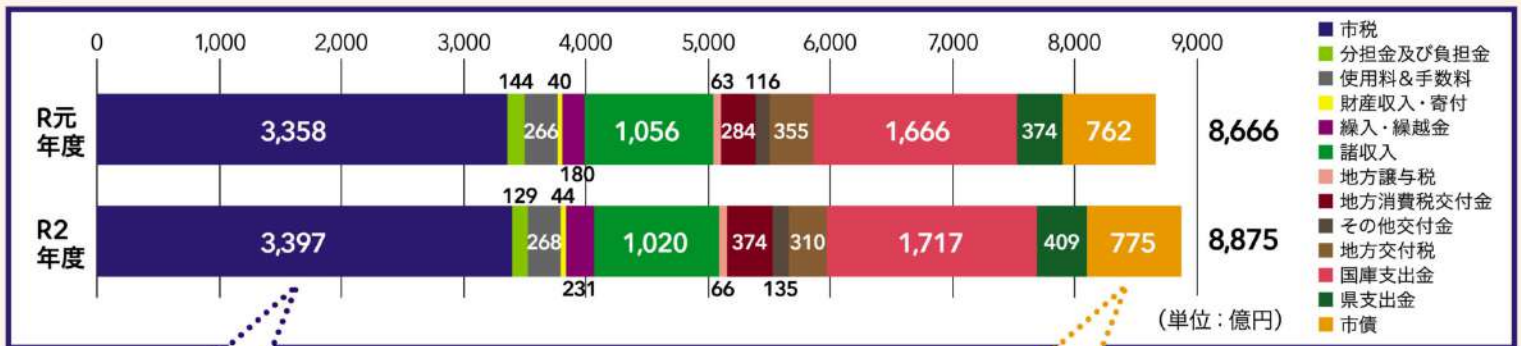


歳入 市税収入の増加に加え、昨年10月スタートした消費増税による地方消費税交付金の増等の影響により、一般財源が約53億円増加し、歳入全体としては令和元年度を上回る規模となっています。



◆市民税の収入増について

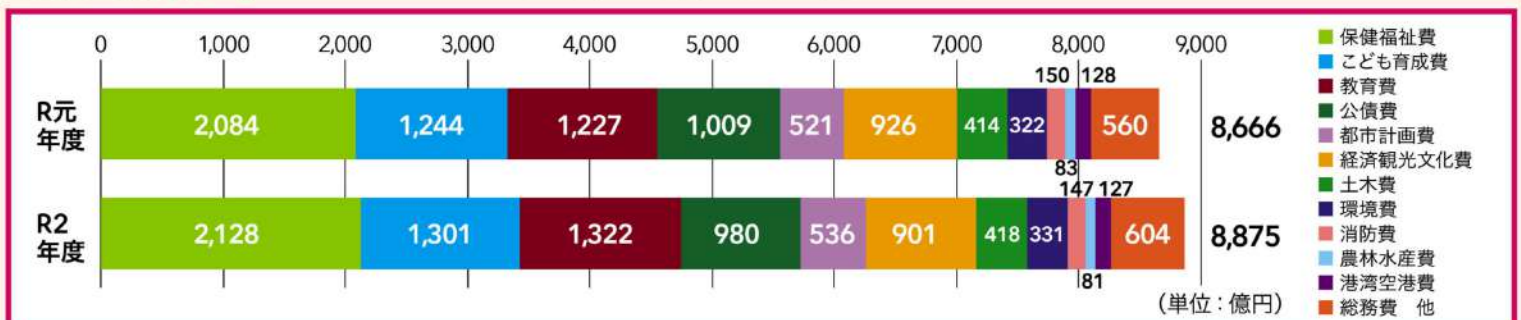
市税収入は、納税義務者数の増加に伴う個人市民税の収入増や新築家屋の影響による固定資産税の増などにより、令和元年度を上回る収入を見込んでいます。加えて、4月から課税を開始する宿泊税についても、新型コロナウイルス感染症の影響は否めませんが、市税収入増につながります。「元気なまち、住みやすいまち、成長可能性が高いまち」を標榜する一方、少子高齢化が加速する中、現役世代の負担軽減や暮らしの改善につながる経済政策が必須であると指摘しました。

◆市債について

財政運営プラン(平成29年6月策定)の取り組みの方向性を踏まえ、当初予算における市債発行額は償還額(公債費/歳出)を下回るよう予算立てし、累計残高の着実な縮減につとめています。グラフの通り、平成16年度をピークに全会計の累計市債残高は減少しています。市民一人あたりの市債残高(本市起債分)については、平成16年度約185万円から令和2年度では約102万円まで縮減する予定です。



歳出 医療・介護関連の繰入金・負担金を加えた社会保障関係費が増加を続ける中、子どもが健やかに育つ環境の充実に向け、子ども育成費や教育費の増額は確保しました。



令和2年度 **「こんなところ」**に取り組みます!

- 子育て支援の充実**
 - 保育支援員の配置費用を助成し、保育体制を強化
 - 重度障がい児1人に対して保育士1人を配置する加配制度の導入
- 教育環境の充実**
 - 小中学校の理科室や図工室等への空調設備に向けた事前準備
 - PC端末の一人一台体制の実現に向けたネット環境整備
- 健康寿命の延伸**
 - ワンコインフィットネスやケアトランポリン教室を実施し、高齢者の運動習慣の定着を推進
 - 高齢者対象の地下鉄企画券「ちかパス65」がさらに便利に
- 安心安全のまちづくり**
 - 公民館等に電気自動車等から電力供給するための設備を導入
 - スマートフォンで通報するNet119緊急通報システムの整備
 - イノシシ被害対策に加え、暮らしを脅かすカラス対策に着手

- 市内産業の活性化の取り組み**
 - 客引き防止の為、防犯カメラの設置や対策指導員を配置
 - 商店街への観光客取込みの為の取組み支援を開始
 - 働きやすい障がい者と人手不足の農家をつなぐ農福連携
- 文化・芸術・スポーツに親しみまちづくり**
 - 市民会館の再整備や、南市民センターの大規模改修を実施
 - 世界水泳選手権2021福岡大会開催に向けた準備
- 環境先進都市に向けた取り組み**
 - R2年10月より、事業系古紙の分別回収による資源化開始
 - マイボトル利用の推進の為、公共施設へ給水スポットを設置
- 公園・広場の再整備**
 - 平尾霊園に本市初の合葬墓を新設し、来春の開園を予定
 - 動物園のゾウ受入れに先立ちゾウ舎拡張などの環境を整備
 - 博多駅筑紫口駅前広場の再整備



福岡市議会議員【東区】

子育て世帯を支える施策を拡充すべき!

福岡市の人口は今後15年間増え続けると予測されています。人口増に伴い、個人・法人市民税や固定資産税の歳入は増えているものの、社会保障関係費等の増加により市財政は依然として楽観できる状況にはありません。現役世代・子育て世帯が、住みやすさを求めて市外に転出していく傾向があることから、高齢者福祉施策とともに、子育て支援策や教育環境の充実等を推進するとともに雇用の安定を図る施策を拡充する必要があります。

■新年度予算・事業について、討論に立つ!

議会最終日[2020年3月25日]

新型コロナウイルス感染拡大に関する雇用対策

安倍首相が唐突に要請した学校の一斉休校は、子育て世帯・ひとり親世帯に大きな不安と混乱をもたらしています。また、訪日観光客の激減や各種イベント自粛等は、観光産業をはじめ地域経済に深刻な事態を及ぼし、長期化が懸念されています。国の金融支援はもちろんのこと、市独自の緊急経済・雇用対策を強化し、併せて働く者の相談体制を講じることを要望しました。

宿泊税充当事業

本年4月から宿泊税を活用した「観光・MICE推進プログラム」事業が始まります。しかし、訪日観光客の激減や各種イベントの自粛など、経済活動の縮小により宿泊税の徴収額が大幅に下回ることが懸念されます。事業実施にあたっては、観光地周辺の公衆トイレの洋式化や交通混雑への対応等、市民生活との調和に係る事業や宿泊事業者に配慮した事業を優先することを求めました。

子ども医療費助成の拡充・児童虐待の防止

子育て世帯の負担軽減を図るため、通院に係る費用について助成対象を中学生に拡大するとともに、3歳以上6歳未満の通院医療費自己負担軽減に向けた見直しを求めました。

また面前DVによる心理的虐待数が増加していることから、DV相談窓口と「こども総合相談センター」(えがお館)との連携、各区保健福祉センターとの相談体制の充実を図ることを要望しました。

「買い物等支援事業」の推進

本年度より、買い物弱者支援として『買い物支援推進員』による地域団体と企業・NPO等のマッチングによる「買い物移動販売車の運行」や「臨時販売所の開設」等のモデル事業がスタートしました。検証を行いながら、地域特性に応じた持続可能な仕組みづくりを行うことを求めました。

「自衛隊への名簿提供」問題

自衛官募集事務の個人情報の提供に関して、市個人情報保護審議会は「自己の情報提供を望まない人に適切な措置を執ること」と市に答申しました。審議会答申を踏まえ、名簿提供については、当該18歳・22歳の若者への周知を単に市政だよりやHPだけにとどまらず、本人に確実に届く具体的な措置をとるべきと要望しました。



春の市政報告会を開催します!

2020年度福岡市予算及び主な新規事業等を報告し、ご意見ご要望をお聞きしたいと考えています。参加費は不要です。ご参加をお待ちしています。

- と き: 2020年 5月23日(土) 受付 13:00/開会 13:30~15:00
- と ころ: なみきスクエア・2F視聴覚室 ※JR・西鉄千早駅そば

PROFILE

1956年4月1日 福岡市東区奈多生まれ
1971年 和白中学校卒業
1974年 福岡高等学校卒業
1979年 福岡教育大学卒業
1979~2006年 27年間、福岡市内の小中学校で教壇に立つ(和白東小、千代小、香椎浜小、東吉塚小、美和台小)
2019年 福岡市議会議員 三期目

所属委員会・協議会等

- ◆経済振興委員会 (経済観光文化局・港湾空港局・農林水産局)
- ◆少子・高齢化対策特別委員会
- ◆九州大学移転・跡地対策協議会
- ◆博多港地方港湾審議会
- ◆福岡市水産振興審議会

おちいし俊則事務所

〒811-0204 福岡市東区奈多1-10-12
TEL 092-606-4541 FAX 092-606-6878
http://www.ochiishi.jp/ e-mail/info@ochiishi.jp

